



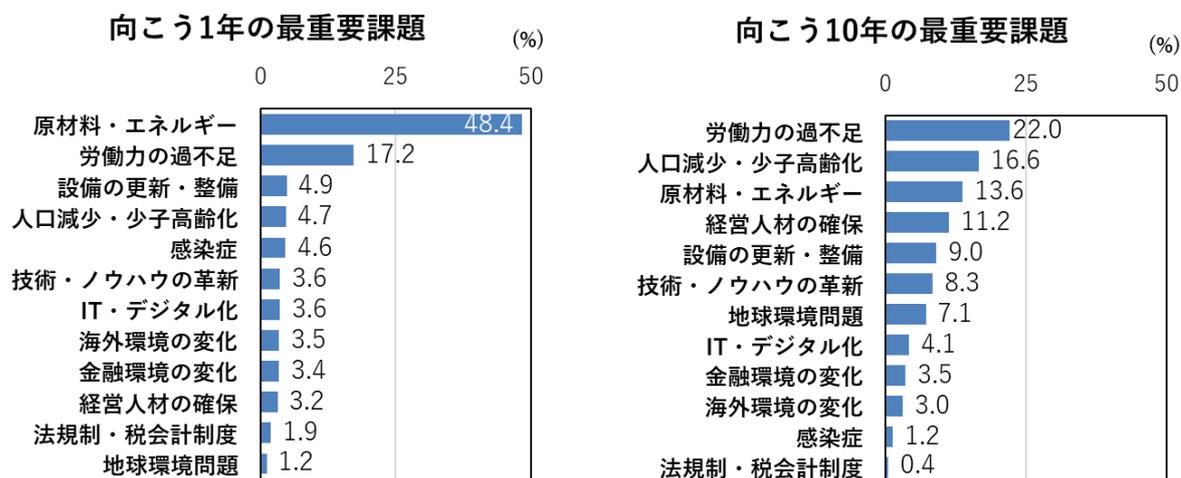
「中小企業が考える自社の諸課題と対応」の公表 (商工中金景況調査 <2023年2月・トピックス調査分>)

商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感をはじめとする実態把握のため、景況調査を実施しています。今般、2023年2月調査のうち、毎回内容を変えている質問項目（トピックス調査分）の結果を公表しました。

<向こう1年・向こう10年の最重要課題>

向こう1年の経営上の最重要課題としては「原材料・エネルギーの確保・価格変動」を挙げる企業が圧倒的に多い。向こう10年の最重要課題としては「労働力の過不足」など「ヒト」に関わる項目が上位に挙げられたが、それらと並び「原材料・エネルギーの確保・価格変動」も上位に入った。

原材料等価格の高騰や不安定な動きを一過性でない、中長期的課題と捉える中小企業が少なくないことが窺える。



本編資料は[こちら](#)をご覧ください。